

## キノコの駒打ち体験

10月31日(月)酒田市宮海の西荒瀬保育園の玄関前でキノコの駒打ち体験を実施しました。当日は夜から朝まで小雨の状態でしたが、キノコの駒打ちを行う時間が近づいたら天気回復して、穏やかな暖かい日となりました。きっと、キノコの駒打ちをしたい園児の皆さんの願いが天に届いたのかもしれませんが。

「キノコの駒打ち体験」は年長組園児25名、保育園先生4名、朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター4名、総勢33名で挑戦しました。

まず、当センター職員からほだ木(ミズナラ)やシイタケ、ナメコについて、「土湯の森」(戸沢村の国有林)から取ってきた本物を使って説明しました。シイタケやナメコが出てくるには1~2年かかると説明したら、そんなにかかると私たち食べられないと残念がる園児もいました。また、シイタケやナメコのことをほとんどの園児が理解していて驚きました。

次に、当センター職員2名によるほだ木の穴開けデモンストレーションを行いました。ある園児は、電動ドリルによる穴開けで、飛び散る木くずを見て「ポップコーン」ができたと表現してくれました。また、ドリルで素早く穴が開くさまを不思議そうに見ていました。

駒打ちは、3~4人の7班に分かれて行いました。4月に巣箱づくりで釘打ちを体験している園児の皆さんは、ハンマーの使い方が上手で、たちまち用意したほだ木に駒を打ち上げてしまいました。種菌を打ち終えた楯木を前にして、「シイタケ菌さん、ナメコ菌さん、大きなキノコになって出てきて下さい。」とお祈りをしました。

最後に、いっぱい積まれたほだ木を前にして記念撮影を行い、汗で光る笑顔をカメラに納めました。園長先生からは、園児の皆さんが卒園してからこのほだ木からキノコが出てきます。キノコを観察しにちょくちょく西荒瀬保育園に遊びに来て楯ほだ木を見て下さいと挨拶がありました。

保育園と園児達がキノコでつながる楽しい一日になりました。



朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター